

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
大泉町	吉田東部	令和4年5月11日	令和4年5月11日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	65ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	44.5ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	13.6ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.6ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	－ ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	15.7ha
(備考)	

### 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者の高齢化による離農が進み農家数が減少しているが、規模拡大を希望する中心経営体も存在しているので、中心経営体が効率的に作業できるよう農地の集約、集積が必要。</li> <li>・面積の小さい圃場が分散しており、効率化を難しくしているので、区画の拡大などの基盤整備が必要。</li> </ul>
--

### 3 対象地区内の課題解決や中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手農業経営者の認定農業者の取得、法人化を進める。</li> <li>・集積・集約化には、地権者並びに地域の理解が必要であるため、地権者等に対し理解を求める説明会の開催を検討していく。</li> <li>・農業委員会や行政、関係機関が連携し、担い手と地権者の調整を積極的に行っていく。</li> <li>・相対での農地賃借を解消し、今後の方針や制度の説明などを実施し、中間管理機構等を活用し、農地の集積・集約化を図る。</li> </ul>
--